

大人もこどももワクワク！ドッジビー大会

ドッジビーは、ドッジボールとフリスビーを組み合わせた遊びです。毎週土曜日は、1階遊戯室の全面を使って、ドッジビーを行っています。午前と午後で各1回15分間だけですが、この時間を楽しみにやってくるこどもたちも多いです。

小学生だけでなく、パパやママ、園児さんも加わることがあります。小学生の勢いよく投げる高速フリスビーに、歓声をあげたり、逃げ回ったり、こどもから大人まで楽しめる時間になっています。

今回は、チームを作って総当たり戦で大会を行います。こどもたちと対戦したい大人も大歓迎。やわらかいフリスビーを使うので、初めての人や園児さんでも安心です。一緒に冬の寒さを吹き飛ばしましょう。

大人もこどももワクワク！ドッジビー大会

日時	1月24日(土) 13時30分～15時
場所	高富児童館 1階 遊戯室
申し込み	直接来館するか電話、InstagramのDM(当日参加も可能です)



地域包括支援センターだより

閩南部地域包括支援センター TEL22-6886
閩北部地域包括支援センター TEL52-3340

「A C P」を知っていますか？

アドバンス・ケア・プランニング

ACPとは、アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning) の略で、厚生労働省による愛称は人生会議です。

命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなるといわれています。自分自身のことを前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

ACPは、もしもの時に備え、将来の医療やケアについて本人を主体に、その家族や近い人、医療、ケアチームが繰り返し話し合い、本人による意思決定を支援する取り組みです。一度決めたら終わりではなく、健康状態の変化や気持ちの変化に応じて、繰り返し話し合い、記録を見直していくことが大切です。

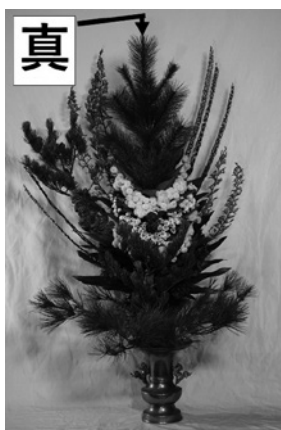


ACPは病気になってからではなく、元気な時から始め、節目で見直すことが効果的です。家族や身近な人と話し合ってみると良いですね。

連載 わがまちの 歴史再発見

23 立華

市重要無形民俗文化財



▶直真(すげじん)



▶除真(のきじん)

令和8年2月22日に山県市重要無形民俗文化財舞台公演会を開催します。そこで披露される文化財を紹介します。園生涯学習課文化財調査室 TEL32-90008

立華は生け花の様式で、元々供花として仏教とともに日本に伝来し、室町時代に床飾りへと波及しました。立華を作ることを「花を立てる」といい、山野の自然を借用し仏花器にありのまま生けることを大切にしています。

伊自良地域の立華は、浄土真宗本願寺派寺院三カ寺が行う報恩講※に際し、供花として左右対称に立てられるもので、直真と除真、松一式の三技法があります。直真は真が真つ直ぐで素直な人間の精神を表し、除真は真が湾曲しており、山あり谷ありの人生を表します。松一式は除真の一種で松のみを使用し、祝い事の際に立てられます。

伊自良地域では天文元(1532)年に初代仏花師が誕生し、以後江尾家がその技術を受け継いできました。現在は伊自良立華保存会として活動し、宗旨問わず誰でも参加できます。伊自良地域に伝わる貴重な民俗文化財に皆さんも触れてみませんか。興味がある人は問い合わせてください。

※浄土真宗宗祖の命日の前後に営まれる法要

連載 きらっと輝く！ さくらカンパニー

26

さくらステップ3
サンソマプラテック株式会社

❁ここがさくらカンパニー

企業理念などについて、取締役の山田哲也さんから話を聞きました。

・「街や社会にとって不可欠な存在(＝酸素)でありたい」という思いが社名の由来となっている。

・担当業務を共有することで、緊急時でも休暇取得しやすく、有給取得率は、ほぼ100%。

・社内の風通しが良く、年代・性別問わず相談しやすい環境が整っている。

❁わが社のさくら

「先輩方が優しく、働きやすい職場です」と語る津野ななみさんに話を聞きました。

私たちの職場は、工業用プラスチックボビン・コアなどの製造・販売を行っています。そのなかで私は加工・検査梱包を行っており、出来上がった製品が

市では、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に積極的な事業所を山県市さくらカンパニーとして認定しています。ここでは、認定企業の取り組みを紹介します。

企画財政課 TEL22-6825

お客さまのお手元に届くことに充実感を得ています。私は令和6年3月から産休・育休を取得して翌年4月に復帰しました。職場には育児中の先輩方も多く、年代を問わず皆でカバーし合える職場です。そのため家族の状況により急な休みが必要となった場合も、安心して有給休暇を取得できます。また業務や環境改善などを気軽に相談できる雰囲気があり、迅速に対応してもらえることもやりがいにつながっています。今後、仕事と家庭を両立しながら、長く働いていきたいです。



▲津野ななみさん(左)と山田哲也さん(右)